

組 番 名前

【故事成語 1】

便覧 P214

(例) 朝三暮四 ちようさんぼし

故事：昔、ある人が、飼っている猿に「とちの実」を朝三個、夜四個やると言ったら猿が怒ったので、朝四個、夜三個やるといったら大喜びした。

意味：口先で人をごまかすこと。

用例：きみは人がいいから、朝三暮四のような言葉にだまされないようにね。

一 それぞれ、四字熟語にあう意味を下の□の中から選び、記号で答えなさい。

10	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	2	1
捲土重来 <small>けんどちようらい</small>	切磋琢磨 <small>せつさたくま</small>	五里霧中 <small>ごりむちゆう</small>	四面楚歌 <small>しめんそか</small>	大器晚成 <small>たいきばんせい</small>	臥薪嘗胆 <small>がしんしょうたん</small>	吳越同舟 <small>ごえつどうしゆう</small>	玉石混交 <small>ぎよくへんこう</small>	画竜点睛 <small>がりりょうてんせい</small>	竜頭蛇尾 <small>りゆうとうだび</small>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ア よいものと劣ったものがまじって区別がないこと。

イ 優れた器量の人 は年をとってから大成するということ。

ウ 迷って、方針や見込みが立たないこと。

エ 肝要な最後の仕上げ。

オ 苦心や苦勞を重ねること。

カ 最初は勢いが盛んだが、最後には勢いがなくなること。

キ 仲間同士がお互いに励まし合い学問や人格の向上に努めること。

ク 破れた者が勢いを盛り返すこと。

ケ 仲の悪い者が、同じ場所に居合わせること。

コ 周りが敵ばかりであること。

【故事成語 2】

一 次の意味にあう故事成語をあとの□から選んで記号で答えなさい

- (1) 世間知らず。ひとりよがり。狭い世界に閉じこもっているものには、広い視野や考え方はできないこと。
 - (2) 苦しまぎれの計略・手段のたとえ。また、自分を犠牲にしてまでも、苦しい状況を脱しようとする事。
 - (3) 目に見えない遠方の事物を知る能力、ものを透視する能力のこと。また、将来のことを予知する能力のこと。
 - (4) 余計なものを付け加えること。あっても役に立たないもの。
 - (5) どんなによいものでもわずかな欠点はあること。
 - (6) 前後のつじつまが合わないこと。両立しないこと。
 - (7) 不利益なこと、あるいは失敗をうまく処置し、工夫をこらすことによつて逆に成功・幸福のきっかけとってしまうこと。
 - (8) 多くの人の中で、才能がひときわ優れていること。目立つようになること。
- | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|

ア 井の中の蛙大海を知らず	イ 玉に瑕	ウ 千里眼	エ 苦肉の策
オ 頭角をあらわす	カ 禍を転じて福となす	キ 矛盾	ク 蛇足

二 () にあてはまる故事成語を、前のア〜クから選び、短文を完成させなさい。

- 1 我が社も損害を被るが、() () で、こうするしか生き延びる術はない。
- 2 彼の言っていることは() () している。

